

2015年3月期 第3四半期決算説明資料

2015年1月23日



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

P3 第3四半期 損益計算書（連結）

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第3四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 従業員の状況

【不動産事業】

P9 第3四半期 損益計算書

P10 第3四半期 連結貸借対照表

P11 2015年3月期 連結業績の進捗に関して

P12 営業拠点の新規開設について

第3四半期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	当3Q累計期間	構成比	前3Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	13,281	100.0%	13,082	100.0%	101.5%
営業利益	1,063	8.0%	1,355	10.4%	78.4%
経常利益	1,107	8.3%	1,380	10.5%	80.3%
当期純利益	675	5.1%	853	6.5%	79.1%

□当第3四半期連結累計期間においては、景気回復の兆しが見られるものの、物価上昇圧力や4月以降の消費税増税による個人消費の低迷の懸念等、先行き不透明な状況の中で、パチンコホール業界では、特に上半期の消費税増税や、建築資材高騰等の影響により、グランドオープン案件が減少しました。また3Q累計期間をとおして、個人消費低迷や参加ユーザー数の減少等に起因する遊技機稼働率低下が見られる等、盛り上がりに欠ける状況にありました。

□主力の広告事業では販売シェアを拡大するため、取引店舗数の更なる増加に取り組むとともに、前期末に子会社化したユーアンドユー社（以下UU）の新たな体制作りと今後の営業戦略の構築を進めました。

□結果、当第3四半期の売上高は13,281百万円（前年同期比+1.5%）、営業利益は1,063百万円（同▲21.6%）、経常利益は1,107百万円（同▲19.7%）、当期純利益は675百万円（同▲20.9%）となりました。

事業の種類別セグメント

□当第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	13,171	109	-	13,281
うち通販広告	754			
セグメント利益	1,347	45	▲329	1063

□前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	+240	▲40	-	+199
セグメント利益	▲268	▲8	▲16	▲292

□前期末に新規連結した通販広告事業の貢献があり、当第3四半期連結会計年度は前年に対して売上高で198百万円の増収となったものの、セグメント利益は▲292百万円の減益となりました。

第3四半期 損益計算書（広告事業）

（単位：百万円）

広告事業	当3Q累計期間	前3Q累計期間	前年同期比
売上高	13,171	12,931	101.9%
うち通販広告	754	-	-
営業費用	11,824	11,316	104.5%
セグメント利益	1,347	1,615	83.4%

□当第3四半期連結累計期間のホール広告市場は、特に上半期までにおいて広告規制強化の影響に加え、例年期待されるGW前の新規出店が減少したことや、消費税増税の影響の見極めのため、集客活動の手控えが見受けられた結果、広告需要は低調に推移しました。また例年12月に特需が期待される新規出店については、件数はほぼ予想通りとなったものの、1件当たりのオープン関連予算は、案件小型化の影響により減少しています。こうした環境下で広告事業では、

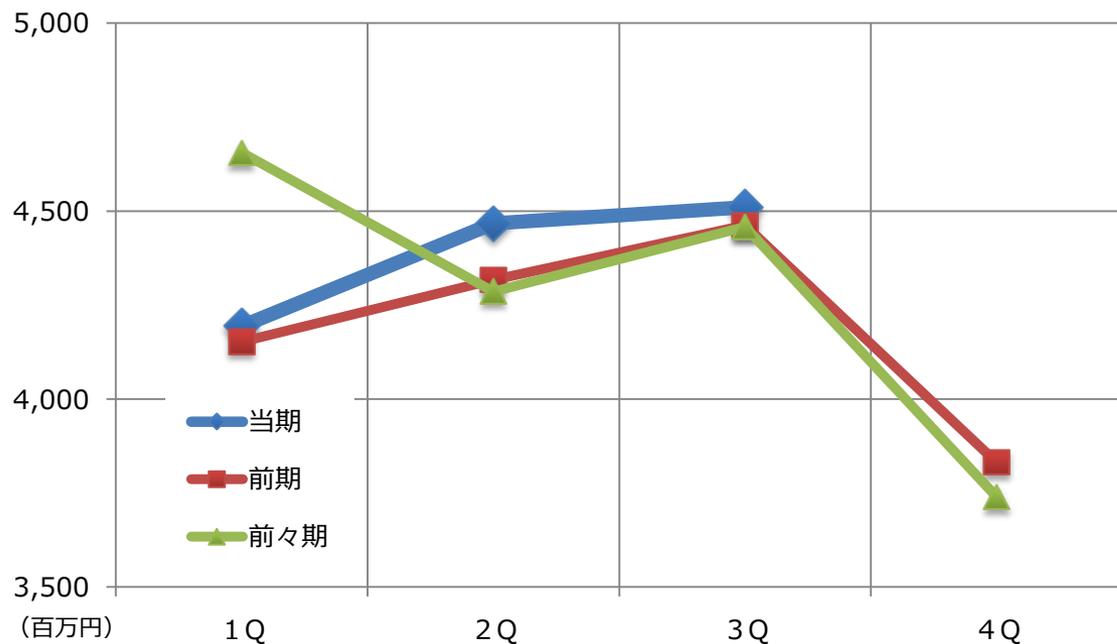
- ・パチンコ広告事業において、取引顧客数の更なる増加に向けた提案活動を強化する一方で、デザイン業務の効率化によるコスト削減に取り組みました。
- ・通販広告事業では、前期末の買収後の新体制構築・営業戦略の構築を進めました。

□これらの取り組みにより、UUの売上高754百万円が寄与し、広告事業の売上高は13,171百万円（前年同期比+1.9%）となったものの、パチンコ広告事業の売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益では1,347百万円（同▲16.6%）となりました。

四半期売上高の推移（広告事業）

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	4,194	4,467	4,509	-	13,170
うち通販広告	276	234	244	-	754
前期	4,152	4,317	4,462	3,831	16,762
前々期	4,655	4,286	4,458	3,739	17,138

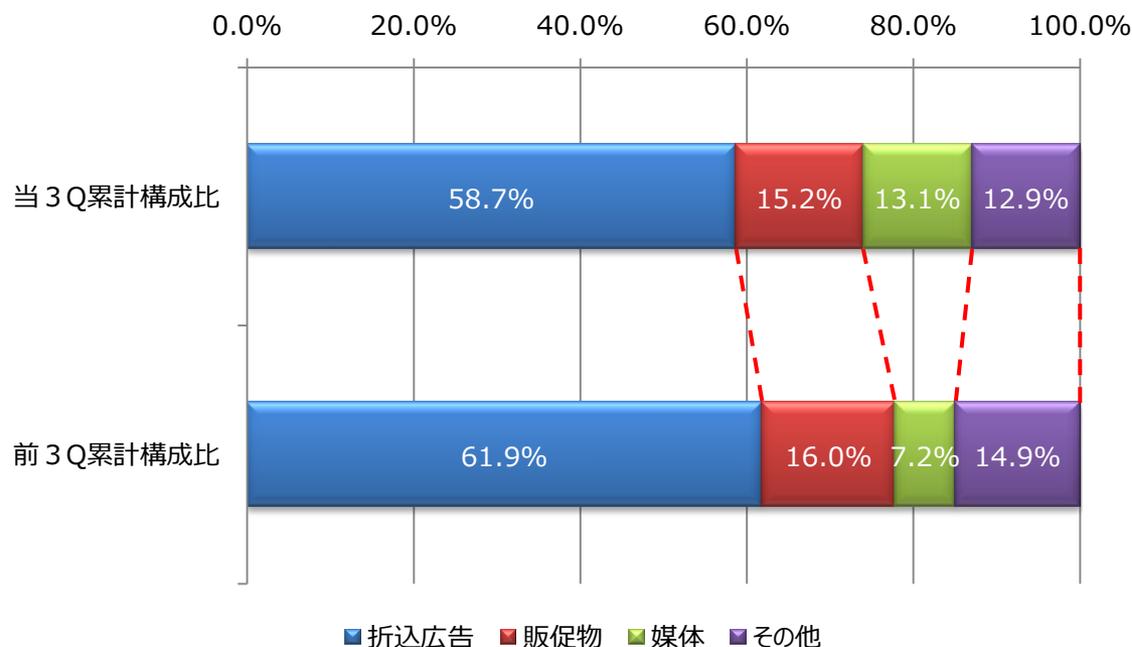


□ 通販広告事業の新規連結の影響もあり、売上高の前年同期比では3Q期間比較で48百万円増加し、3Q累計でも240百万円の増加となりました。

品目別売上高の推移（広告事業）

(単位：百万円)

	当3Q累計期間	構成比	前3Q累計期間	構成比	前年同期比
折込広告	7,731	58.7%	7,999	61.9%	96.7%
販促物	2,008	15.2%	2,063	16.0%	97.3%
媒体	1,727	13.1%	937	7.2%	184.3%
その他	1,704	12.9%	1,932	14.9%	88.2%
	13,171	100.0%	12,931	100.0%	101.9%



□「媒体」は通販広告事業の新規連結により、売上および構成比がそれぞれ前年同期比で+790百万円、+5.9ポイントとなりました。

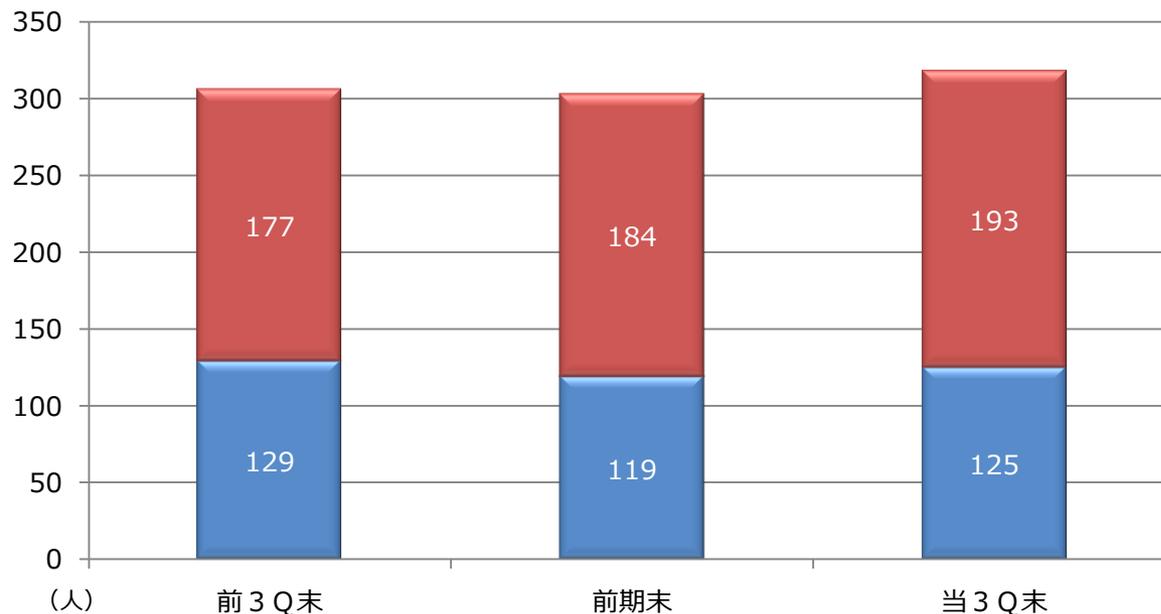
□「その他」は主としてメーカー向けスポット売上高の減少により、前期比で減少しました。

従業員の状況（広告事業）

(単位：人)

	前3Q末	前期末	当3Q末
売上原価【クリエイティブ・製作】	129	119	125
販管費【営業・管理】	177	184	193
広告事業計	306	303	318

■ 売上原価【クリエイティブ・製作】 ■ 販管費【営業・管理】



□主としてアプリ開発を手掛けるLED社の新規連結の影響等により、前期末と比較して+15人となりました。

第3四半期 損益計算書（不動産事業）

(単位：百万円)

不動産事業	当3Q累計期間	前3Q累計期間	前年同期比
売上高	109	151	72.5%
営業費用	64	98	65.3%
セグメント利益	45	53	84.0%

□当第3四半期連結累計期間においては、既契約で継続中の2件の賃貸案件の他にスポットの仲介案件があり、売上高は109百万円（前年同期比▲27.5%）、セグメント利益は45百万円（同▲16.0%）となりました。

第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当3Q末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	3,804	2,919	▲884
受取手形・売掛金	2,226	2,785	559
その他流動資産	180	409	229
有形固定資産	893	916	23
無形固定資産	259	326	67
投資その他資産	1,124	981	▲143
資産合計	8,487	8,338	▲149
支払手形・買掛金	1,289	1,621	332
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	756	360	▲396
未払法人税等	318	124	▲194
その他流動負債	238	323	85
長期借入金	270	655	385
その他固定負債	26	18	▲8
負債合計	2,898	3,103	204
株主資本	5,567	5,222	▲345
その他	20	12	▲8
純資産合計	5,589	5,235	▲354
負債・純資産合計	8,487	8,338	▲149

①主として納税、配当による現金および預金の減少

②12月における取引高増加による増加

②12月における取引高増加による増加

③前期末比354百万円の減少

～主な要因～

- ・四半期純利益 + 675百万円
- ・自己株式 ▲551百万円
- ・利益配当 ▲467百万円

2015年3月期 連結業績の進捗に関して

(単位：百万円)

	2015年3月期 3Q累計実績	前回発表通期予想 ※2014年10月17日 発表	進捗率
売上高	13,281	17,300	76.8%
営業利益	1,063	1,450	73.3%
経常利益	1,107	1,450	76.3%
当期純利益	675	900	75.0%

□概ね計画通りに進捗しているため、通期の連結業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

□ 広告事業における営業エリアの拡大を目的として、新たに愛媛県松山市に新規拠点を開設します。

営業拠点名称：ゲンダイエージェンシー(株) 松山営業所

営業範囲：四国4県におけるパチンコホール

営業開始予定日：平成27年4月1日（予定）

これにより、パチンコ広告事業の営業拠点は20拠点となります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在
入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいてお
り、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334